

TTC 定例山行実施記録表

2012年1月13日 報告者:小嶋孝夫

山行名	忘年山行 (西丹沢 世附権現山登山) [1018, 8 m、神奈川県]			
実施日	2011年 12月17日(土)~18日(日) 1泊2日 公共交通機関利用			
天候/参加人員	天候 晴れ レベル:★★ 参加人員: 申込:33名/実行:33名			
パーティスタッフ	氏名削除			
参加メンバー	氏名削除			
費用 (集金) 10,000円	交通費は各自個人負担(参考:本厚木から丹沢湖まで往復:(330+870)x2=¥2,400) 支出: 宿泊代 8,600円(入湯税150円含む)×33=283,800 飲み物(配膳費・冷蔵庫・二次会費)=43,220 会議室使用料2,100 通信費1,000 支出総合計 330,120円 収入 (集金10,000×33)+30,000(忘年会補助金)= 収入合計360,000円 残金 360,000-330,120= 残金29,880円 (残金は、チャリティオークション売上金¥34,600と メンバ2名からのカンパ金¥7,000(KTさん¥5,000、HMさん¥2,000)の合計¥41,600と合わせた ¥71,480を東日本大震災義援金として日本赤十字社に3度目の拠出を致しました(TTCからの 義援金拠出総額:¥329,106)。 ・ チャリティオークション出品に協力頂いたメンバ:22名/出品数:50点			
歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイドブック			
	計画	5:00	1:30	6:30
	実行	5:20	1:15	6:35
実行コースタイム記録				
◆ 12/17(土) 世附権現山登山 (集合) バス¥870 0:15 0:30 0:40 0:30 0:35 新松田駅===丹沢湖-----浅瀬登山口-----P550-----P650-----P930----- 8:25 9:15 9:35 9:50 10:20 10:25 11:05 11:10 11:40 11:45 (昼食) 0:50 1:20 0:40 -----世附権現山頂-----二本杉峠-----細川バス停-----中川温泉丹沢荘(泊) 12:20 13:10 14:00 14:10 15:30 16:10				
コースの概要、特記事項、反省事項等				
◆実施概要 12月例会を兼ねた恒例の忘年会山行は、西丹沢中川温泉「丹沢荘」に1泊して忘年会を開催するのに合わせ、12/17(土)は付近の世附権現山に登山した後、丹沢荘で温泉と宴会で大いに盛り上がり、翌日は12月例会を開催した後、一端解散とするが、希望者のみで大野山にハイキングするという内容である。 世附権現山ハイキングには27名が参加し、その後、丹沢荘に直接6名が集合。忘年会は33名が参加し、チャリティオークション等で大いに盛り上がった。宴会終了後、宿泊されずに1名が帰宅されたため、12月例会は32名の出席の元で実施された。その後の大野山ハイキングには20名が参加した。				
◆12/17(土)世附権現山ハイキング 各自新松田駅へ集合する。出発10分前になってもHMさんが現れない。どうしたものかと連絡を取ることがつながらず、やっと連絡が取れたら小田急線が事故との事。5分前になって駆けつけて全員そろって出発する。バスは定刻8:25に出発して9:20に丹沢湖に到着。準備体操をして浅瀬登山口に着く。 ここからの取り付きは、以前は急登であったが、今やこのコースはバリエーションと言うより一般登山道になってしまった。ゆるやかなつづら道を歩きまづは脱ぎタイムをとる。やがて次第に急登になり始めて一時間位たった所で一本立てる。ここは小さな尾根で特に下りで雨の時やガスった時は湖側に行きやすく要注意である。とはいえこんなに晴れ渡ったときはてっぺん目指せばよほどのことがない限り迷いようがない。				

尾根に乗り鹿の柵に沿って歩き出し、不老山塊を見ながら多少のアップダウンを楽しみながら歩みを進める。軽いピークを越えてややなだらかな所で一本立てる。

ここから高度があるピークに向かいきつい歩きとなるが、やがて最後の急登に差し掛かる。ここを乗り越え最後の休憩をとり今日一番の坂を登る。やがて力が抜けたように道は緩やかになり、かなたに山頂を感じるようになり、広々とした広場が顔を現す。頂上到達はあっけないくらいで各自ベンチに腰掛けたり、思い思いに昼食をとる。

ゆっくり休んで集合写真を撮り、二本杉峠へ歩き出す。ここから急な下りになり、気が抜けない。登山道はあるものの枯葉があり注意を要す。下り一辺倒で疲れる。

木で出来た柵があったり、キレットもどきのやせ場があったりしながら最後の急坂を下り、やがて二本杉峠へ着く。

ここは地蔵平のきこり部落の子供たちが地蔵小学校の分校から上ノ原の本校に通ったりしたが、やがて地蔵平の部落は水害で子供を失ったりして今やその子の為にお地蔵様が祭られているのみである。ついには地蔵部落は土地をすてて皆浅瀬部落に移ってしまったような・・・

ここからは以前の台風で崩壊した登山道が危惧されたが、心配することなく順調にバス道路に着き、中川温泉丹沢荘に到着する。

◆中川温泉丹沢荘での忘年会

山に登らずに中川温泉丹沢荘に直接やってきた6名のメンバを加え、温泉に各自思い思いに入浴して汗と疲れを流したあと、総勢33名のメンバの参加を得て、いよいよ夜の宴会開始となる。

TTCの創立時からのメンバで、2011年8月に満80歳を迎え、現在も現役メンバとしてTTC主催山行に盛んに参加されているKMさんに、TTCメンバ全員の良き手本として、生涯現役を貫いてほしいとの願いを込めて、TTCからささやか記念品とともに表彰状をお渡しした。

本日のメインイベントの東日本大震災チャリティオークションは大いに盛り上がり、驚くような品物が次から次とセリ落とされて完売となった。なんとその売上金の合計が34,600円(提供者:22名/出品数:50点)に達した。KTからのカンパ5,000円とHMさんからのカンパ2,000円を加えた金額は、なんと合計41,600円。忘年山行の残金29,880円を合わせた総合計71,480円全額を、翌朝開催した12月例会出席者(32名)全員の賛同を得て、東日本大震災の義援金として拠出することにいたしました。

楽しい二次会も盛大に、かつ有意義に？終わることが出来ました。

翌日朝、丹沢山荘会議室にて12月の例会を実施した後(出席者32名)、現地解散といたしました。

その後、希望者のみ(20名)にて、大野山にハイキングへ行き、大いに楽しみ、見事な富士山を堪能して一路帰路につきました。

お蔭様をもちまして無事忘年山行が終わることが出来ました事に深く感謝いたします。